

1 調査名称：つくば市総合都市交通体系調査

2 調査主体：つくば市

3 調査圏域：つくば市全域

4 調査期間：平成21年度～平成22年度

5 調査概要：

今後のつくば市の自転車に関する取組の方向性を示すため、自転車のまちつくば基本計画の策定を行うにあたり、以下に示す業務を実施した。

- ①市内道路状況の調査
- ②自転車の位置づけ，将来目標の明確化
- ③市民・事業者への意向調査
- ④将来のビジョン作成
- ⑤実施施策の整理
- ⑥意見聴取のための検討会開催
- ⑦パブリックコメントのとりまとめ
- ⑧基本計画策定
- ⑨「つくば自転車スローライフ」の改訂

I 調査概要

- 1 調査名：21 研推委自転車のまちつくば基本計画策定業務委託

- 2 報告書目次
 - 1 章 業務の概要
 - 1.1. 業務委託
 - 1.2. 業務内容
 - 1.3. 業務フロー
 - 1.4. 業務位置
 - 1.5. 業務概要

 - 2 章 市内道路状況の調査
 - 2.1. 調査概要
 - 2.2. 調査結果のとりまとめ

 - 3 章 自転車の位置づけ，将来目標の明確化
 - 3.1. 自転車の位置づけの整理
 - 3.2. 安全対策の整理
 - 3.3. 事業推進の目標値等の設定

 - 4 章 市民・事業者への意識調査
 - 4.1. 意識調査実施概要
 - 4.2. アンケート調票
 - 4.3. 調査結果

 - 5 章 将来ビジョンの作成
 - 5.1. 自転車のまちつくばのイメージビジュアルの作成
 - 5.2. 将来的な自転車のまちづくり（自転車道ネットワーク）図の作成

 - 6 章 実施施策の整理
 - 6.1. 実施施策の整理
 - 6.2. 施策の普及効果の検討と優先度の設定

 - 7 章 意見聴取のための検討会の開催
 - 7.1. 第1回 自転車のまちつくば推進委員会
 - 7.2. 第1回委員会議事録

8章 関係機関協議資料の作成

- 8.1. 自転車のみちつくば推進委員会
- 8.2. つくばの交通を考える研究連絡会

9章 パブリックコメントのとりまとめ

- 9.1. パブリックコメント実施概要

10章 検討委員会資料作成

- 10.1. 第1回委員会資料

11章 基本計画（案）の作成

12章 概要資料作成

- 12.1. 全体構成
- 12.2. 概要資料の作成

13章 「つくば自転車スローライフ」の改訂及び印刷

- 13.1. 全体構成
- 13.2. マップ表示内容
- 13.3. 印刷用版下の作成

3 調査体制

自転車のまちつくば推進委員会 (委員長 茨城大学教授 金利昭)

4 委員会名簿等

自転車のまちつくば推進委員会委員名簿

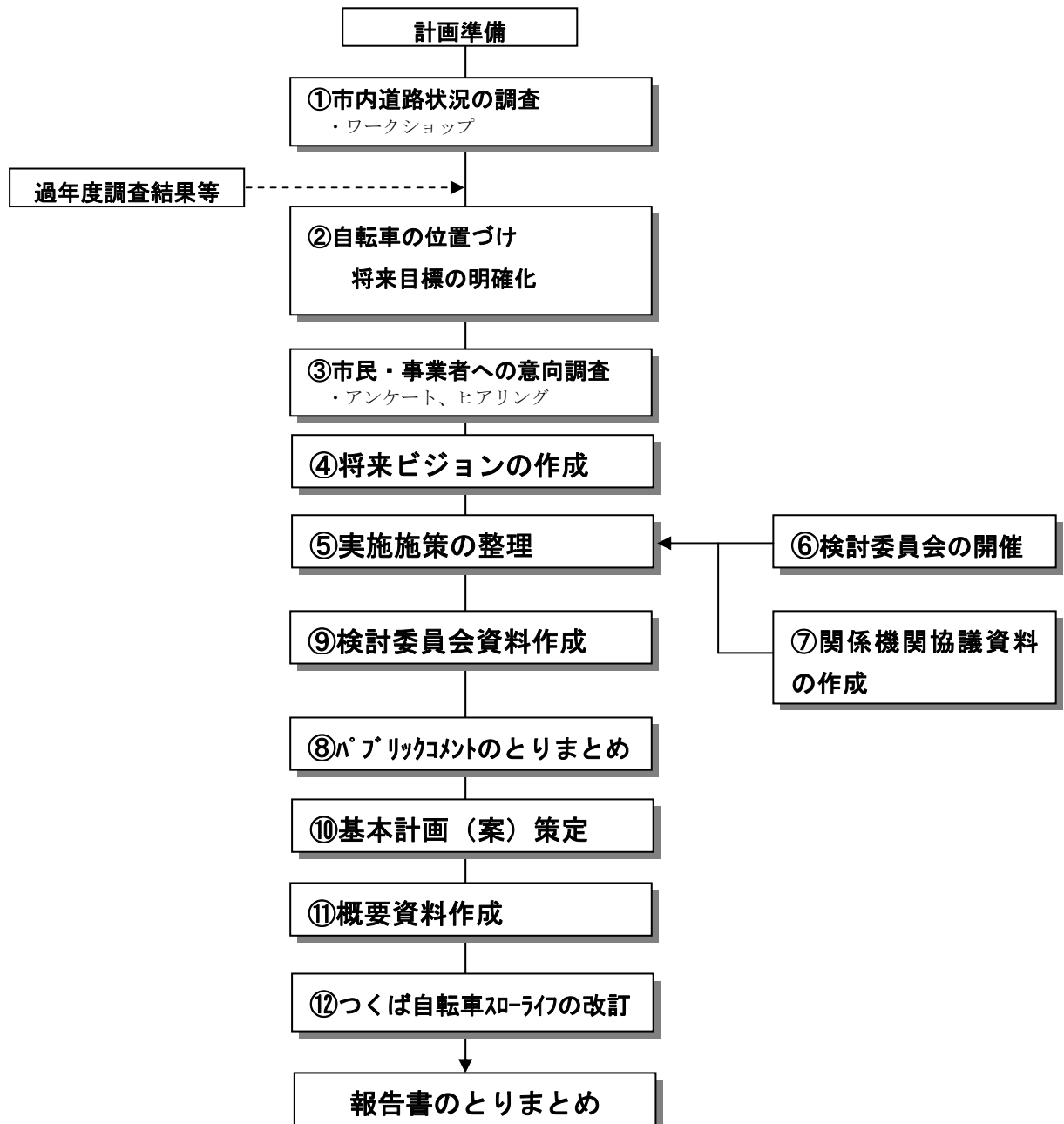
		所 属	役 職	氏 名
有識者	委員長	茨城大学工学部都市システム工学科	教授	金利昭
	副委員長	筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術系	准教授	渡 和由
	委員	国土技術政策総合研究所道路研究室	主任研究官	大脇 鉄也
	委員	(独)国立環境研究所都市・環境研究室	主任研究員	松橋 啓介
自転車利用者	委員	女性代表		阿部 直子
	委員	つくば市PTA連絡協議会	会長	酒井 昌夫
	委員	茨城県立竹園高等学校	校長	市村 博
	委員	筑波大学全学学類・専門学群代表者会議	生活委員会施設・交通班長	大島 洋音
	委員	つくば市体育協会	副会長	片岡 光雄
	委員	つくば市工業団地企業連絡協議会	会長	岡田 久夫
団体等	委員	つくば市商工会	青年部長	中村 重雄
	委員	(社)つくば青年会議所	ネットつくば実行委員長	勝村 健司
	委員	イーアスつくば	副支配人	松本 茂
	委員	首都圏新都市鉄道(株)経営企画部	経営促進課長	河田 英介
	委員	関東鉄道(株)自動車部	部長	武藤 成一
	委員	輪業組合	筑波北支部長	庄司 新市
	委員	輪業組合	つくば中央支部長	中島 利男
	委員	バイクショップ フォルツァ	代表取締役	武井 享介
	委員	(財)つくば都市交通センター	理事	岡田 嘉久
行政機関	委員	茨城県つくば中央警察署	交通課長	入江 邦夫
	委員	茨城県つくば北警察署	交通課長	大槻 孝男
	委員	茨城県企画部つくば地域振興課	課長	櫛田 浩司
	委員	茨城県土木部土木事務所	道路整備第一課長	小松崎 誠
	委員	(独)都市再生機構ニュータウン業務部	事業調整第2チームリーダー	木本 政幸
	委員	つくば市都市建設部	部長	大内 一義
	委員	つくば市市長公室	公室長	本位田 拓

II 調査成果

1 調査目的

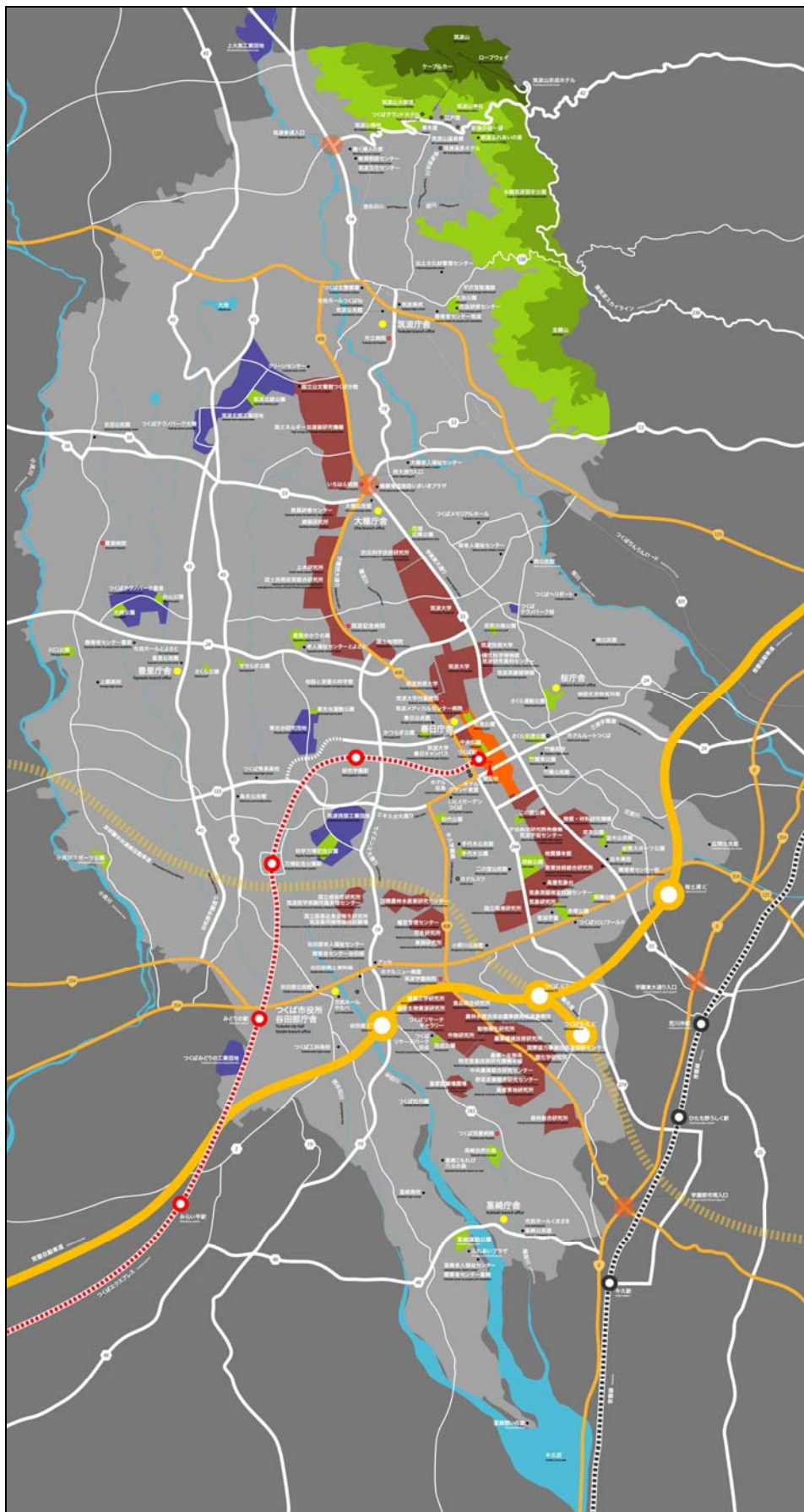
本調査は、環境に優しい持続可能なまちづくりに取り組むにあたり、自転車利用を長期的に推進するため、市内の道路状況の調査や住民・事業者の意識等を抽出・分析・整理し、今後の自転車のまちづくばの将来ビジョンや目標等を策定し、それに向けた施策の検討を整理する等自転車のまちづくばを推進する基となる基本計画を策定することを目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図

○ つくば市全域



4 調査成果

■ ~りんりんつくば~ 自転車のまちつくば基本計画の概要

● 自転車のまちつくば基本計画の目的と将来像

< 目的 >

- ◆市が目指す低炭素社会と市民の多様なライフスタイルの実現に貢献する、自動車からの交通手段転換の観点から、今後の約10年間を見据えた自転車のまちづくりの方針を定めます。
- ◆市民意見を反映するとともに、各施策、関係機関との連携による効果の発現を目指し、歩行者の安全確保及び自動車との共存にも考慮した、ソフト・ハードの総合的な自転車利用環境づくりの具体的方向性を示します。

< 将来像 >

将来目標：つくばらしさを活かし、自転車を利用する多様なライフスタイル「りんりんつくば」を実現します。

前提条件：安全で快適な自転車利用環境づくりが必要です。

社会的要請

- 地球環境に貢献する低炭素社会に向けた、様々な取り組み
- 市民の環境意識の高まり
- 健康で快適な生活や移動の要請

自転車のまちづくり

< 現状 > 地域環境を活かした、より安全・快適な社会の実現

- 自転車の利用に適した、つくば市の地域環境
- 自転車を活用することで得られるさまざまなメリット（環境・コスト・健康）
- 安全な自転車走行を求める市民の声（ワークショップ・アンケート）

< 取組み > 安全で快適に走行できる自転車利用環境づくり

- 安全：交通ルールを理解し、より安全な利用のための意識の啓発とルールづくり
- 快適：快適に走行できる自転車走行空間ネットワークづくりの推進
- 利便：自転車が使いやすい体制・施設づくりの推進
- 環境：環境にやさしい仕組みづくりの推進
- 健康：自転車を楽しめる機会づくりの推進



自転車のまちづくりが目指す将来像



~りんりんつくば~



つくばの環境を活かし自転車を活用する市民の多様なライフスタイルの実現



コンフォータブルライフ

誰もが快適に過ごすライフスタイル



スローライフ

低炭素で自然とともに過ごすライフスタイル



スマートライフ

便利に、おしゃれなライフスタイル



アクティブライフ

心も身体も健康に楽しむライフスタイル

自転車のまちづくりによる **セーフティ (安全) な環境・ルールの確保**

● つくばの自転車利用環境に係る課題

1. 交通安全に関する課題

自転車・クルマ・歩行者が交通ルールやマナーを適切に理解、実践するとともに、地域に適した自転車利用のルールづくりを行い、様々な立場の市民が交通安全に配慮することが求められています。

2. 自転車を利用する道路環境に係る課題

- ①整備が進んだ地区では、歩道上の段差や車止め、ポールなどの存在による走行面の課題があります。周辺地域では歩道の分断や自転車利用空間の幅員の不足など、安全・快適な道路環境づくりに向け、維持管理面での改善も求められています。
- ②道路照明施設が少なく、夜間の自転車利用の安全性確保が必要です。
- ③道路環境の整備を行う、国・茨城県・(独)都市再生機構、つくば市が連携し、安全で快適な自転車走行ネットワークの実現が求められています。

3. 駐輪に関する施設・仕組み等の課題

- ①つくば駅周辺で年間約1,500台が撤去される放置自転車は、歩道幅の減少や景観の悪化を招いており、公共を含む建物敷地内での駐輪場設置の推進や違法駐輪の抑制策が求められています。
- ②市内中心部以外の周辺地域では、地域の交通連携を進め、地域拠点を結節点とした公共交通と自転車利用の連携や情報の提供が求められています。

4. 市民・来訪者の一時自転車利用の課題

研究学園地区、TX沿線開発地域などの企業や研究施設、学校への交通手段、普段の買い物等の短距離交通手段の充実が求められています。

5. 低炭素新交通体系への転換に向けた課題

クルマ主体の通勤手段から、民間企業や施設(研究施設・市役所含む)の連携により自転車やバスなどの低炭素型交通への転換が求められています。

6. 自転車利用に適した環境をより活用する

自転車の利用性に優れた道路や平坦な地形、四季折々の表情を見せる筑波山や地域景観を活かしたスポーツ・観光・健康増進に向けた活動を継続、展開することが求められています。

安全／快適

- 交通ルールを理解し、より安全な利用のための意識の啓発とルールづくり

安全な交通環境を実現するための交通ルールの理解、実践と地域に適した利用ルールによる思いやり、ゆすり合いの意識づくりが求められています。

- 快適に走行できる自転車走行空間ネットワークづくり

誰もが不安なく自転車を利用できる基盤づくりが求められています。

利便

- 自転車が使いやすい環境づくり

賢く、便利に自転車を利用できる仕組みづくりが求められています。

環境

- 環境にやさしい仕組みづくり

自転車を活用した未来づくりが求められています。

健康

- 自転車を楽しめる環境づくり

自転車による多様で充実したライフスタイルづくりが求められています。

● 自転車のまちつくば基本方針

地域環境を活用し、より安全で、より快適な自転車利用環境をつくります

つくば市における、自転車を利用したライフスタイル「〜りんりんつくば〜」の実現に向け、安全で快適な自転車利用環境をつくるため、総合的なソフト・ハード施策の推進に取り組めます。

安全 ／ 快適

1. 交通ルールを理解し、より安全な利用のための意識の啓発とルールづくり

- 交通ルールを自転車、歩行者、クルマなどが共有、実践できる啓発事業を検討、実施する。
- 安全・快適な自転車利用のため、地域に適した「(仮)つくばの自転車・交通利用ルール」の条例化に向けた検討を行う。
- 市民の安全で快適な自転車利用のためのルート情報(自転車マップ)の提供と市民参加型ワークショップの開催による自転車利用の促進に向けた検討を行う。

2. 快適に走行できる自転車走行空間ネットワークづくり

- 交通結節点や人口集中地区、学校施設周辺などの日常の自転車利用や余暇、レジャーによる自転車利用ニーズを踏まえた「新たな自転車走行空間ネットワーク」を構築する。
- 既存の道路環境の課題に対し、国、茨城県との連携により改善を行う。
- 自転車利用数の多い路線、夜間の危険箇所などに対し、照明施設の設置を進める。

利 便

3. 自転車を使いやすい体制・施設づくり

- 交通結節点であるTX各駅において、駐輪需要に対応した駐輪場の設置を進める。
- 周辺地域の拠点を交通結節点とし、自転車と公共交通(バス)の連携や情報提供を行う。
- 低炭素新交通体系を作るバスと連携し、遠距離の移動等における自転車利用を促進する。
- 放置自転車の抑制に向け積極的な情報提供や啓蒙活動を行うとともに、自転車等駐車場の附置義務の適用を推進する。
- 市民の快適な自転車利用を支える体制・施設づくりとして公共施設、商業施設等での軽微な修理環境や、適切な整備の実施、休憩等のできる環境の整備を推進する。
- 中心市街地の短距離・短時間の移動需要に対し、コミュニティサイクルの導入検討を行う。
- 子育て世代や高齢者のニーズに対応した自転車利用支援について検討を行う。

環 境

4. 環境にやさしい仕組みづくり

- 資源を有効に活用し、手頃な価格での自転車の提供を行い自転車の利用を促進する。
- 環境面、コスト、健康増進などの観点から、自転車による通勤への転換を進めるためのソフト対策を行う。

健 康

5. 自転車を楽しめる機会づくり

- 健康増進、地域活性化の観点から、既存の自転車スポーツイベントの継続的な開催や、より広い利用者層を取り込むための新たな活動を行う。
- 筑波山麓の観光資源などを回遊する観光需要に対し、充実した情報提供(自転車観光マップ)とレンタサイクルによる周遊観光利用を進める。
- より多くの利用者の利用を目的に、レンタサイクルに対し電動アシスト自転車の導入検討を行う。
- 自転車利用に適した環境や技術等を反映した、つくば型自転車を検討し提案する。

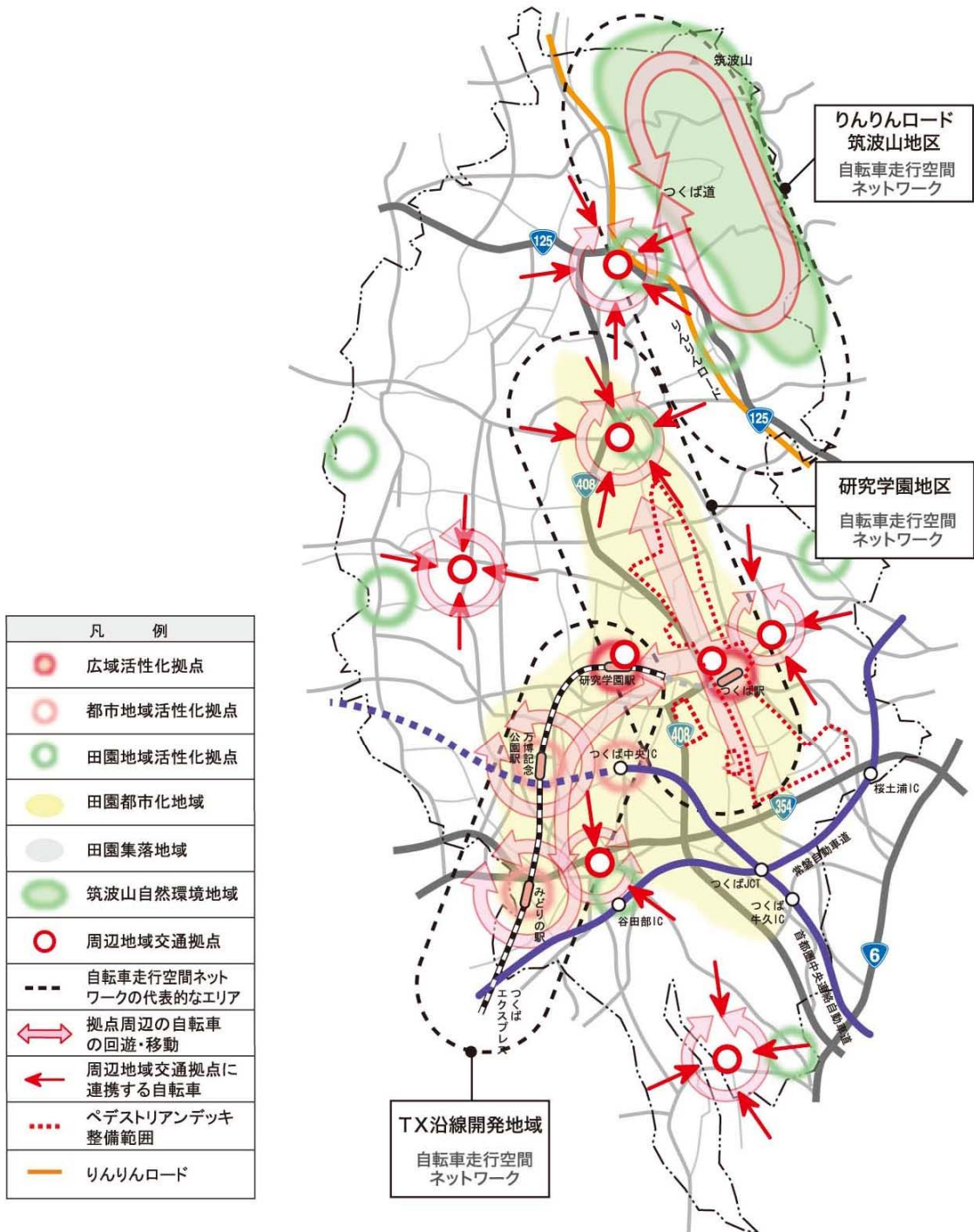
自転車のまちつくばの着実な推進体制づくり

- 自転車のまちつくば基本方針に基づく実施施策(取組み)を実現化させるため、行動計画、フォローアップ計画等について、今後具体的な検討を行う。

● 自転車のまちつくば概念図

自転車のまちづくりにおけるネットワークの形成は、以下の観点に基づき設定します。

- ・ 市域の核となる交通拠点を中心とした自転車走行空間ネットワークを形成します。
- ・ 整備事業が進むTX沿線開発地域を中心に、自転車利用空間の整合性を確保します。
- ・ 研究学園地区、TX沿線開発地域とその周辺地域との連続したネットワーク形成を行います。
- ・ りんりんロードを主軸に、筑波山周辺のアクセスや観光利用のネットワーク形成を行います。
- ・ 対象路線は、自転車マップ作成ワークショップでの結果を反映します。



● 自転車のまちつくば基本方針に基づく施策の体系

